

## 日本育療学会第 17 回学術集会プレ企画・日本育療学会小規模研修会

自分らしく生きるために一トータルケアの充実を求めて

日本育療学会第 17 回学術集会(本集会)のプレ企画として、小規模研修会を福岡市中心身障がい福祉センターで開催します。「自分らしく生きるために」というテーマのもと、本集会と小規模研修会を通して実践と研究を交流して参りたいと思います。

小規模研修会では、中高生から 30 代くらいまでの小児慢性疾患の患者、経験者の皆様と支援者の皆様にお集まりいただき、自立とは何か、自立に向けて抱えがちな課題、どのように課題に向き合っているかを交流しあい、とくに高校を卒業するまでに身につけておきたいことを整理したいと考えております。



// テーマ // 青年期の小児慢性疾患患者・経験者の自立を支える

// 日程 // 平成 25 (2013) 年 8 月 4 日 (日) 10 時 (開場 9:30) ~15:10

// 会場 // 福岡市中心身障がい福祉センター (あいあいセンター) 大研修室

〒810-0072 福岡市中央区長浜 1 丁目 2-8 TEL 092-721-1611(代表)

// 参加費// 無料

### パネルディスカッション 1 「患者・経験者の会のあり方」 (10:20~)

さまざまな病気と向き合い、困難を乗り越えていこうとしている子どもたち。個々の課題を共有し、共に考え成長する場として、患者会や経験者の会があります。教育・自立・ピアサポートの観点からそれぞれの取り組みを紹介しあい、会として目指す方向や課題を検討します。またそこから、患者・経験者本人に対し周囲の人達がどのような関わりができるかを、一緒に考えていきましょう。

パネラーには、井本圭祐氏 (NPO 法人にこスマ九州)、柳樂育男氏 (福岡心臓病者友の会) など、患者・経験者の方を予定しています。

### パネルディスカッション 2 「青年期・成人前期の自立を支援するために」 (13:10~)

青年期、成人前期は、自分をみつめ、仲間や社会との関係を築いていく大切な時期です。慢性疾患の若者たちは、こうした課題にどのように向き合っているのでしょうか。自立の過程が、病状悪化、経済的困難、孤立などの固定化につながらないようにしていくための課題を多角的に検討します。

パネラーには、稲田浩子氏(久留米大学医学部)、黒田小夜子氏(福岡市障がい者就労支援センター) など、支援者の方を予定しています。

// 主催 // 日本育療学会第 17 回学術集会実行委員会

// 後援 // 文部科学省・厚生労働省・福岡県教育委員会・他 (いずれも申請中)

//参加申込み// 申し込み〆切 平成25年7月31日とします。

当日参加も受付けていますが、できるだけ事前に申込みをしてください。この申込書は学術集会ブログに掲載しますので、ダウンロードして学術集会事務局会員係あてにメールに添付してお送り下さるか、ファックスでお送りください。ファックスは4月15日以降にお願いします。

しめい 氏名	いずれかに○ 会員 非会員		職種 該当するものに○をおつけください。 当事者 親 教師 保育士 看護師 医師 C L S 臨床心理士 ソーシャルワーカー 大学教員 大学院生 学生 その他 ( )
勤務先			
連絡先住所	〒 -		自宅 職場 の別
連絡用メールアドレス 電話番号	メール @ 電話 ( ) - ( ) - ( )		該当するものに○ 自宅 職場
事務局からの連絡は原則としてメールを用います。携帯の場合は、学術集会事務局会員係のアドレス（P C）からの受信ができる設定にしてください。			

◎ 申込先アドレス ikuryo17@gmail.com

日本育療学会第 17 回学術集会事務局会員係 櫻木里子(元 九州大学病院がんばるーむ教諭)

ファックス 093-583-5251 (西南女学院大学谷川研究室)

◎ 第 17 回学術集会関係の情報と問合せ

学術集会ブログ <http://sfca.cocolog-nifty.com/conference17/>

ブレ企画に関する問合せ kota@seinan-jo.ac.jp(日本育療学会第 17 回学術集会事務局 谷川弘治)

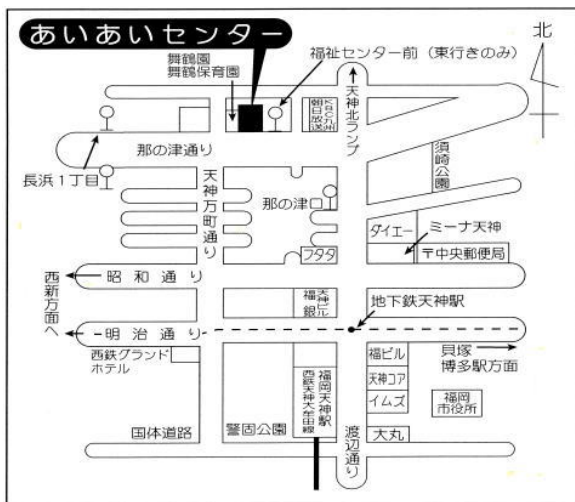
## // 会場案内 //

西鉄バス「福祉センター前」下車すぐ、「長浜 1 丁目」下車 徒歩 2 分、「那の津口」下車徒歩 5 分

「天神」下車徒歩 1 2 分

市営地下鉄「天神駅」下車徒歩 1 2 分

西鉄大牟田線「福岡（天神）駅」下車徒歩 1 5 分



あいあいセンター